

木耐協

リフォーム会社紹介事業開始

エスクロー活用し完成保証を提供



小野秀男理事長

木造住宅耐震補強事業者協同組合(通称・木耐協)は、一般消費者向けのリフォーム事業者紹介サービスを開始した。従来同組合は耐震補強工

の促進を行ってきたが、大の特長だ。木耐協が施工したリフォームという主と工事業者の間に入る広い枠組みから耐震補強工事の促進へとつなげる。組合員は全国に約1000社在籍しており、これらに向けたサポートサービスを構築、今後はネットワークを活用した建材などの共同購買も視野に入れていくという。

約書フォーマットを用いて行う。決済は日立キャピタルとの一括またはローン契約を締結し、工事代金は完工後にリフォーム会社に支払われる仕組みだ。万が一、工事業者が工事の継続が不可能になった場合、他のリフォーム会社に工事の続行を依頼し、完成保証を提供する。工事後の5年間、木耐協が対象工事の瑕疵保証を行う。

リフォーム会社紹介システム「フランニュー」(仮称)は、エスクローを活用した紹介方式が最

紹介するリフォーム会社は、建築士在籍が義務で設計は建築士が必ず行う。登録業者は建設業の許可を取得し、かつ建築士事務所登録を行っている会社に限定する。また、会社の設立は3年以上経過していること、(財)

Brand-new
リフォームの効果を最大限に引き出す
和の効果

Brand-new
和の効果
0120-401818

住宅リフォーム・紛争処理支援センターが運営する住宅リフォーム支援システム「リフォームネット」の登録店であることなど独自の基準を設けている。基準を満たさない工事店に対しては1年間の

暫予期間を与えており、基準を満たせなければ、退会を促すという。組合がこれまで積み込んだ工事業者紹介システムを行うのは珍しい。組合が抱えるリスクは大きくそれだけに紹介するリフォーム会社の水準が鍵を握りそうだ。